

009.9.27「保護者懇談会」理事長挨拶

保護者の皆様へ

理事長 安部 直樹

本日は9月27日。清風明月を払うという言葉に秋満開の香りを感じます。

本学の“保護者懇談会”によるこそお越し頂きました。遠方は北海道や沖縄からまさに御家族のお子様への関心の高さが感じられます。

さて、長崎国際大学の経営母体であります学校法人九州文化学園は、昭和20年12月15日に創立されました。戦後の荒廃した、食べるものも無い、着るものも無いという貧しさの中で、これからの祖国の復興は教育しかないという創立者の熱い思いでの出発でありました。現在は、幼稚園、高等学校、専修学校、短期大学、大学、大学院を有する総合学園となり、また、九州文化学園グループ全体としては、2つの社会福祉法人に、保育園、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、更に平成20年2月に社団法人の長崎リハビリテーション病院を開院しました。

大学は平成12年に県、市、企業の多大なる支援を頂いて発足した“公私協力型”の大学です。戦後の動乱の中で発足した学園は、建学の理念の中に「高い知性と豊かな教養、たくましい意志と健康な体、人としての香り高い品格と徳性」をあげています。しっかり勉強に励み、苦しい事、辛い事に負けない強い意志力、更には人としての美しさ、優雅さを持つ人間性の陶冶であります。

その実践教育として、本学は“茶道教育”を教育理念の中心においています。茶道の精神は“和敬清寂”礼節を持って相手に尽くし、尊敬の気持ちで人と対座し、常に清らかな心で汚れの無い境地を目指し、自分を律し、自己の鍛錬を行うことを茶道教育より学び取り”不易流行”不変なものに変化すべきものを見通すことのできる学習力を身につけて欲しいと考えています。

本大学は未来に向けた専門的知識、技術、資格等を伝えていく知の部分と、人が人として持つべき常識や礼法を伝えていくべき教養の部分とを有しています。その為に、一人一人の学生を大切にし、教員と職員が一生懸命学生に真正面より向き合った姿勢を最大の特徴としています。

どうぞこの一日、大学を理解し、学生の大学生活を理解し、更に時間をお作り頂き、茶

室“自明堂”にて一服の茶をお楽しみ下さい。本日が意義ある懇談会でありますことを心より期待し、御挨拶にかえさせていただきます。